



地図と測量の科学館

企画展「地図と測量に見る戦災からの復興」「つくばエクスプレス開業20年」同時開催中！

CONTENTS

1. 第54回 国土地理院報告会を開催 2
2. 令和7年測量士・測量士補試験合格者を発表 3
3. 中国(浙江省湖州市)で開催された地理空間情報管理に関する国際会議等に参加 4
4. 「測量の日」関連行事を実施
 - 「測量の日」における功労者感謝状贈呈式を開催 5
 - 「くらしと測量・地図展」を開催 6
 - 「『測量の日』記念フェア2025」を開催 7
 - 第28回中国地区測量技術講演会を開催 8
 - 四国管内で「測量・地図学習会」を開催 - 地理院地図ワークショップ - 9
5. 「自然災害伝承碑」ウェブ地図「地理院地図」での公開数 10
6. 6月の報道発表・8月の主な行事予定 10

第54回 国土地理院報告会を開催

6月3日に「第54回国土地理院報告会」を日経ホール(東京都千代田区)において開催し、6月10日から6月30日までの間、講演をオンデマンド配信いたしました。

国土地理院報告会は、測量・地図・地理空間情報について、国民の皆様理解を深めていただくことを目的に、昭和47(1972)年から毎年度開催しており、今回で54回目となります。報告会では国土地理院の最新の取組などを紹介するとともに、関連分野の有識者の方に特別講演を行っていただいております。

今回の報告会では、「宇宙技術と測量の未来」をテーマに、合成開口レーダー(SAR)を用いた地殻・地盤変動監視についての取組や、今年4月に全国の標高成果を改定し衛星測位を基盤とする標高体系へ移行したことなどについて報告しました。また、報告会冒頭の講演では、今年4月に施行された測量法や関係政省令の改正内容の概要を紹介しました。

特別講演では、宇宙航空研究開発機構(JAXA)理事の^{たきぐちふとし}瀧口太氏に、「国土地理院とJAXAとの連携20年」と題して、IGS解析センター(JGX)など、これまでの国土地理院とJAXAの協力関係や将来の展望を紹介いただくとともに、SARをはじめとする様々な地球観測衛星についてご講演いただきました。

会場内では、全国の標高成果の改定や、3次元地図に関するものなど、国土地理院の各種取組を紹介するパネルの展示やパンフレットの配布を行いました。

今回の報告会では、民間企業、教育関係、行政関係や学生など、幅広い分野から、多くの方にご参加いただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

国土地理院職員による講演資料は、以下のホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.gsi.go.jp/REPORT/HAPPY/OU/2025/main54.html>

来年度も6月に開催を予定しております。詳細が決まりましたら国土地理院のホームページでお知らせしますので、ぜひご参加ください。



やまもと
山本国土地理院長による開会挨拶



講演の様子



展示の様子

(企画部)

令和7年測量士・測量士補試験合格者を発表

5月18日に実施した令和7年測量士・測量士補試験の合格者を、測量士は7月8日、測量士補は6月26日に発表しました。

試験は全国14都道府県（15試験会場）で実施し、合格者数は測量士が1,487名、測量士補が6,837名でした。試験結果は合格発表当日に国土地理院ホームページで公開するとともに、受験者全員に合格証書又は試験結果通知書を発送しました。

各試験地の願書提出者数、受験者数及び合格者数は下表のとおりです。

試験地	測 量 士				測 量 士 補			
	願書 提出者数	受験者数	合格者数	合格率%	願書 提出者数	受験者数	合格者数	合格率%
北海道	369	264	111	42.0%	797	603	306	50.7%
宮城県	432	292	120	41.1%	1,337	1,083	426	39.3%
秋田県	160	117	45	38.5%	476	412	154	37.4%
東京都	1,444	886	387	43.7%	4,496	3,255	1,870	57.5%
新潟県	199	145	62	42.8%	447	347	140	40.3%
富山県	221	141	61	43.3%	685	574	281	49.0%
愛知県	490	344	140	40.7%	1,652	1,310	758	57.9%
大阪府	707	469	195	41.6%	1,961	1,458	828	56.8%
島根県	234	170	46	27.1%	456	387	178	46.0%
広島県	165	109	42	38.5%	584	467	195	41.8%
香川県	338	248	90	36.3%	997	816	406	49.8%
福岡県	471	309	115	37.2%	1,997	1,639	850	51.9%
鹿児島県	216	151	54	35.8%	828	702	338	48.1%
沖縄県	93	58	19	32.8%	436	310	107	34.5%
合 計	5,539	3,703	1,487	40.2%	17,149	13,363	6,837	51.2%

試験問題や解答例など詳細は以下のホームページをご覧ください。

(https://www.gsi.go.jp/LAW/SHIKEN/goukaku_2025.html)

(総務部・企画部)

中国(浙江省湖州市)で開催された地理空間情報管理に関する国際会議等に参加

6月3日及び4日に、中国・浙江省湖州市で開催された地理空間情報管理に関する国際会議及びセミナーに参加しましたので、その様子を報告します。

■アジア太平洋の国々が集まる国際会議

今回国土地理院が参加したのは、「国連地球規模の地理空間情報管理に関するアジア太平洋地域委員会(UN-GGIM-AP)理事会」です。アジア太平洋地域の理事会メンバーが集まり、作業部会の進捗状況の報告を行うとともに、会長をはじめとした次期理事会メンバーの選出手続きについて議論しました。また併せて総会の準備状況について報告されました。

会議では、飯田洋^{いいだよう}基本図情報部長がUN-GGIM-APの副会長として議論に参加しました。

■各国の事例共有等を行うセミナー

統合的地理空間情報フレームワークの実装を支援すること等を目的としたセミナーが開催され、各国における事例などが共有されました。



理事会終了後の集合写真

国土地理院からは、飯田部長が、地理空間情報インテリジェンスに関するパネルディスカッションに参加したほか、宮下^{みやした}妙香^{たえか}企画部国際課長及び竹崎^{たけさき}宗一郎^{そういちろう}地理空間情報部情報サービス課地図成果係長が事例紹介に関する発表を行いました。

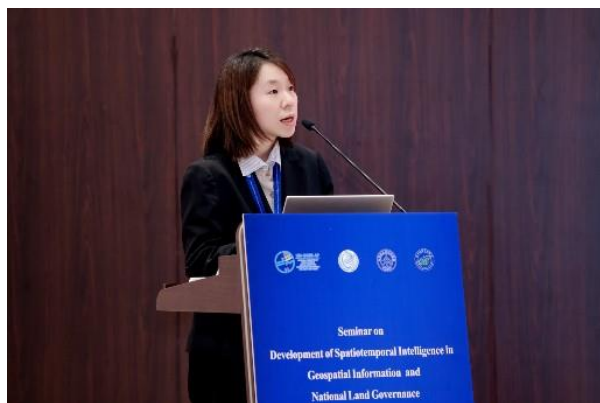
■各国との関係構築

国際会議では、各国の代表者とよりよい関係を構築・維持することも重要です。休憩の間にも参加者とお互いの発表に関する質問や意見交換を行い、理解を深めます。

今回の会議では、過去に国土地理院が技術協力を行った機関からも参加しており、相手国からは国土地理院の活動に対しての謝意が伝えられました。



パネルディスカッションでの飯田部長の発言の様子



宮下課長の発表



竹崎係長の発表

(企画部・基本図情報部・地理空間情報部)

「測量の日」関連行事を実施

●「測量の日」における功労者感謝状贈呈式を開催

国土地理院は、測量や地図に対する国民の一層の理解と関心を高めることを目的に、測量の日が制定された平成元年度から、測量や地図に関する普及・啓発に顕著な功績のあった個人又は団体に感謝状を贈呈しています。

今年度は個人の方3名に贈呈しました。

【功労者】※50音順 敬称略

北川 育夫（一般社団法人大阪府測量設計業協会 会長、一般社団法人GIS支援センター 理事、一般社団法人ドローン測量教育研究機構 理事）

鶴成 悦久（国立大学法人大分大学 教授 減災・復興デザイン教育研究センター長、クライシスマネジメント機構 副機構長）

橋本 雄一（北海道大学 大学院文学研究院 教授）

なお、贈呈理由については報道発表をご参照ください。

国土地理院ホームページ > 2025年 報道発表資料一覧 > 測量・地図の感謝状贈呈者決定

(<https://www.gsi.go.jp/kohokocho/kohokocho65050.html>)



6月25日 近畿地方測量部において
北川氏(手前中央)に贈呈



6月20日 九州地方測量部において
鶴成氏(手前中央)に贈呈



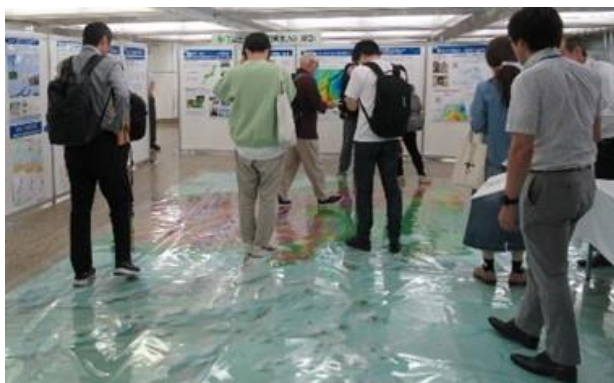
6月23日 北海道地方測量部において
橋本氏(中央)に贈呈

(総務部)

「測量の日」関連行事を実施 ●「くらしと測量・地図展」を開催

「測量の日」東京地区実行委員会(事務局:関東地方測量部)(以下、実行委員会)は6月4日から6日までの3日間、新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて「くらしと測量・地図展」(共催:東京都、後援:新宿区)を開催しました。「くらしと測量・地図展」は、「測量の日」関連行事として開催し、今回は「変わりゆく新宿」展やミニ講演会を行い、約6,700人の来場者がありました。

今回で31回目となる「くらしと測量・地図展」では、「楽しみながら地図を読み、大地を測る～変わりゆく新宿～」をテーマに実行委員会の各団体が展示等を行いました。今年は特設コーナーに「変わりゆく新宿」展として、これまでの新宿を地図・写真で振り返るとともに、会場周辺で進められている再開発事業を紹介する資料でこれからの新宿を想像できるような展示を行いました。



大きくなって日本をお散歩(国土地理院展示)

好評のミニ講演会では、国土地理院から最近の話題について4つの講演、新宿の土地利用等の変遷に関する2つの講演、基準点によるインフラツーリズムに関する講演の計7つの講演を行いました。講演会場は今年から座席数を増やしましたがそれでも立ち見が出るなど、人気の高さがうかがえました。



満席の講演会場(ミニ講演会)

関東地方測量部からは、「測る、描く、守る、伝える～新しい標高～」のパネル展示と東日本地方の

余色立体図の床展示、特設コーナーの「変わりゆく新宿」展にこれまでの新宿の変遷を示す地図や空中写真のパネルを展示しました。



「変わりゆく新宿」展(特設コーナー)

ミニ講演会では、針間^{はりま}測量課長から標高改定について、宮地^{みやじ}防災課長から防災に役立つ地図について、川又^{かわまた}測量係長からウェブ地図「地理院地図」について、石山^{いしやま}部長から標高の基準となるジオイドについてそれぞれ講演しました。



地理院地図を紹介(ミニ講演会)

会場には、連日通われる熱心な方、ミニ講演会を楽しみに来場された方、通りかかって地図に興味を引かれた方、付近の高校の生徒さんなどが来場し、測量・地図に親しんでいただきました。来場者からは、「高さってこうやって決まるのですね」「新宿はこう変わるのか」などの声が寄せられました。

関東地方測量部では、今後とも「測量の日」関連行事として、測量・地図等の重要性について理解が広まるように本取組を継続してまいります。

(関東地方測量部)

「測量の日」関連行事を実施 ●「『測量の日』記念フェア2025」を開催

6月3日、大阪合同庁舎第4号館(大阪市中心部)第1及び第2共用会議室において「『測量の日』記念フェア2025」を開催し、官公署職員、測量業関係者あわせて236名の皆様にご参加いただきました。

「『測量の日』記念フェア2025」では、近畿地方測量技術発表会とパネル展、測量機器・システム展を実施しました。



田中近畿地方測量部長の開会挨拶

今回で27回目となる近畿地方測量技術発表会は、最新の測量技術や知見等について、5課題の発表が行われました。

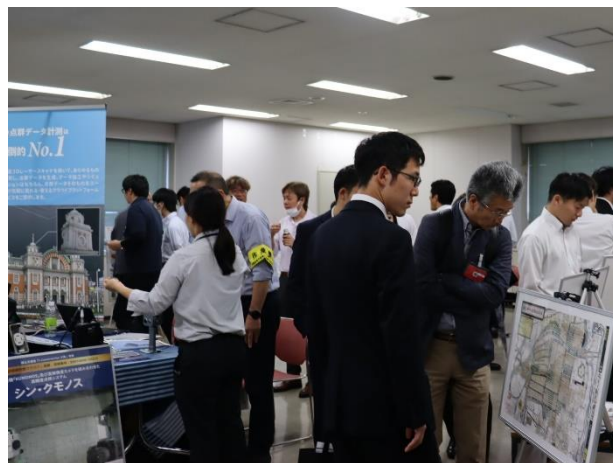
国土地理院からは、近畿地方測量部の鈴木啓測量課長から「『全国の標高成果の改定』～衛星測位を基盤とする新しい標高へ～」というテーマで、新しい標高体系、新しいジオイドモデル「ジオイド2024日本とその周辺」及び標高改定に伴う準則の一部改正について説明し、参加者は熱心に聴講されていました。



近畿地方測量技術発表会の様子

また、民間企業等からは、国際航業株式会社名草一成氏から「阪神淡路大震災(兵庫県南部地震)から30年」、土地家屋調査士の境界問題相談センター 京谷智弘氏から「土地家屋調査士が行う境界鑑定の手順」、iシステムリサーチ株式会社西川啓一氏から「ドローンを用いた精密3D計測について」、(株)ジオテクノ関西 永野格氏から「最新測量技術を活用した文化財事業への取組み」というテーマで講演いただきました。

30年前の阪神淡路大震災直後の測量に関する講演と最新技術に関する講演を聴講し、改めて測量技術の進歩について認識することができたとの声が聞かれました。



パネル展、測量機器・システム展の様子

パネル展、測量機器・システム展は、当部を含む11機関の展示が行われました。

当部からは、標高改定、防災情報、自然災害伝承碑のパネル展示を行いました。

その他の機関では、最新の測量機器の展示や測量技術についての紹介が行われました。参加者は、担当者から説明を受け測量機器等を用いて操作することで、より新技術への関心を高められたようでした。

近畿地方測量部では今後も「測量の日」関連行事として、測量・地図等の普及啓発のために本取組を継続してまいります。

(近畿地方測量部)

「測量の日」関連行事を実施 ●第28回中国地区測量技術講演会を開催

6月23日、広島県民文化センター(広島市中区大手町)において、「測量の日」中国地区連絡協議会(委員長:中国地方測量部長)主催による「第28回中国地区測量技術講演会」を開催し、188名の方にご来場いただきました。

中国地区測量技術講演会は、地理空間情報の利活用、新しい測量技術や測量に関するプロジェクトなどを産学官から広く紹介し、測量技術の普及・啓発を図ることを目的として平成8(1996)年から開催しています。

今回の講演会では、最初に特別講演として山口東京理科大学工学部数理情報科学科教授 溝口知広氏から「大規模環境3次元計測のここ十年の振り返りと異分野コラボレーションの展開」と題して、大規模環境3次元計測技術の技術的進展を振り返るとともに、分野横断的な技術融合がもたらす未来展望について論じていただきました。



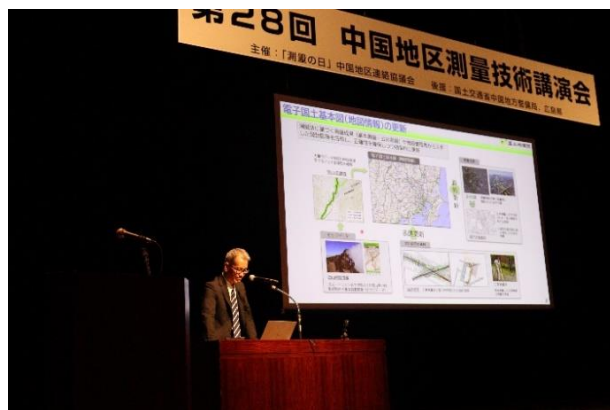
山口東京理科大学 溝口教授 の特別講演

続いて、株式会社ニコン・トリンブルジオススペシャル事業部関西エリア営業グループ 山本和宏氏から、生産性向上を図る様々な最新ソリューションや、それらの現場での活用事例を紹介していただきました。



(株)ニコン・トリンブル 山本氏 の講演

最後に、国土地理院基本図情報部 藤井稔 国土基盤情報調整官から、当院における電子国土基本図の3次元化に向けた取組についてと、併せて、1mメッシュ標高データ、3次元点群データの提供について紹介しました。



国土地理院 藤井 国土基盤情報調整官の講演

会場では、令和7年4月の標高改定に関するパネルのほか、海上保安庁第六管区海上保安本部海洋情報部から、海上保安庁の業務や海図に関するパネルの展示を行い、来場者の関心を集めました。



第六管区海上保安本部海洋情報部によるパネル展示

今回の講演動画は、YouTubeチャンネル「測量の日」中国地区連絡協議会にて10月初旬まで公開予定です。

<https://www.youtube.com/channel/UCKVOYMQINXIKWlkCeOtP0wQ>



中国地方測量部では、今後も地理空間情報の活用推進、測量新技術の普及・啓発のために様々な取組を継続してまいります。

(中国地方測量部)

「測量の日」関連行事を実施

●四国管内で「測量・地図学習会」を開催 ―地理院地図ワークショップ―

四国地方測量部では「測量の日」関連行事の一環として、未来の測量分野を担う高校生に対して、測量や地図の重要性を学んでもらい、最新の測量技術に触れる体験を通じて、その魅力と楽しさを発見してもらうことを目的として「測量・地図学習会」を開催しました。今年度は特に、学生がより主体的にウェブ地図「地理院地図」やGISへの理解を深めるきっかけとしてもらうために「地理院地図ワークショップ」を行いました。

ウェブ地図「地理院地図」(以下、「地理院地図」という。)は、地図や地理への理解を深め、地域における事前防災を検討する上で非常に有効な手段です。しかし、「地理院地図の操作方法が分からない」「情報や機能(ツール)が多すぎて使い方が分からない」等の理由により最初の一步でつまづいてしまい、十分に利活用されていないという課題がありました。

そこで当部では、地理院地図で公開している重ね合わせ情報や機能(ツール)を24枚のカードにまとめた「地理院地図カード」を新たに作成しました。そして、このカードとタブレット端末を用いて地理院地図を実際に操作する実習を「地理院地図ワークショップ」と名付けました。



地理院地図ワークショップの様子
(香川県立高松南高等学校環境科学科の生徒)

ワークショップは、4人1組のグループ形式で実施しました。生徒たちは各自のタブレット端末で地理院地図を操作し、自宅や学校周辺など身近な地域のハザードマップ、過去の空中写真、土地の成り立ちがわかる地形分類などを表示させます。

講師の説明を聞くだけではなく、グループ内で話し合いながら作業を進めることで、生徒たちは主体的に地理院地図やGISへの理解を深めていきました。

なお、今回使用した地理院地図カードは、ワークショップに限らず、地理院地図をより手軽に、そして便利に使うためのツールとしても活用できます。



地理院地図ワークショップの様子
(香川県立高松南高等学校環境科学科の生徒)

当初は、各校のICT環境(タブレット端末やネットワーク)によっては操作に制限が出る可能性を考慮し、地理院地図カードを主体とした実習を想定していました。しかし、今回参加した高校はいずれも環境が整備されていたため、主にタブレット端末での操作を中心とした実習を行うことができました。

学習会終了後、学生からは「初心者優しく理解しやすいように話してくれて、分かりやすかった。」「自分の町に津波がどれくらい来るのか、土砂崩れが起こる場所などがわかって役立ち良かった。」などの感想が寄せられました。

当部では、今後もこうした学習会を通して、地域の学校や関係機関との連携・支援を深め、測量と地図の魅力を伝える活動を進めてまいります。

(四国地方測量部)

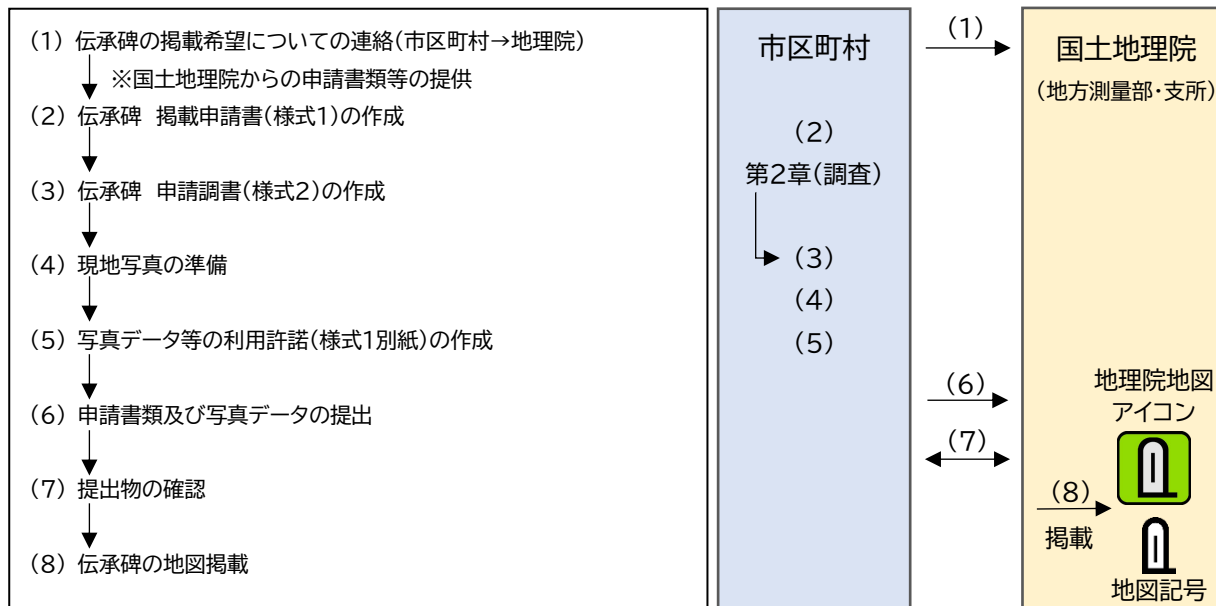
○「自然災害伝承碑」ウェブ地図「地理院地図」での公開数

令和7年6月26日現在

47	都道府県	663	市区町村	2364	基
----	------	-----	------	------	---

詳細については、自然災害伝承碑のページ(<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi>)をご覧ください。
[市区町村の担当者の皆様へ]自然災害伝承碑に関する当院への情報提供にご協力をお願いいたします。

自然災害伝承碑の申請の流れ



様式や手続きの詳細は「自然災害伝承碑に係る調査業務 実施の手引き 第6版(令和6年3月)」
(https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_info.html)をご覧ください。

○6月の報道発表

発表日	件名	担当部署
3日	測量・地図の感謝状贈呈者決定～令和7年度は3名に贈呈～	総務部
5日	ハザードマップポータルサイトを活用して災害に備えよう ～身のまわりの災害リスクや避難場所の確認が地図上で簡単にできます～	応用地理部
9日	令和7年5月の地殻変動	測地部 測地観測センター 地理地殻活動研究センター
16日	「測量の日」関連行事として記念講演会を開催	九州地方測量部
26日	令和7年測量士補試験の合格者を発表	総務部
27日	地震前にゆっくりすべりの周期が短くなる現象を観測 —2024年8月の日向灘の地震前後のプレート間すべりの解析から—	地理地殻活動研究センター
30日	これでわかる！身の回りの自然災害リスク ～能登半島などの地形分類データ「数値地図25000(土地条件)」を公開します～	応用地理部

報道の内容は、国土地理院ホームページ>2025年 報道発表資料一覧
(<https://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/press-2025.html>)をご覧ください。

○8月の主な行事予定

月日	行事
7/15～9/21	地図と測量の科学館 企画展「地図と測量に見る戦災からの復興」 「つくばエクスプレス開業20年 —地図・写真から見る沿線の変化—」
8/19	第248回地震予知連絡会

国土地理院広報は、
国土地理院ホームページ>広報誌>国土地理院広報
(<https://www.gsi.go.jp/WNEW/koohou/>)に掲載しています。

発行 国土交通省国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番
TEL 029-864-6255
FAX 029-864-6441



連絡先: 総務部広報広聴室
国土地理院ホームページ
<https://www.gsi.go.jp/>